



ONTAP tools for VMware vSphereを10.5 に移行する

ONTAP tools for VMware vSphere 10

NetApp
February 11, 2026

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/ontap-tools-vmware-vsphere-10/migrate/migrate-to-latest-ontaptools.html> on February 11, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

ONTAP tools for VMware vSphereを10.5 に移行する	1
ONTAP tools for VMware vSphereから 10.5 に移行する	1
VASA プロバイダーを移行し、ONTAP ツールで SRA を更新する	1
VASAプロバイダーの移行手順	1
ストレージレプリケーションアダプタ(SRA)を更新する手順	6

ONTAP tools for VMware vSphereを10.5に移行する

ONTAP tools for VMware vSphereから 10.5 に移行する

ONTAP tools for VMware vSphereのNetApp ONTAP ツールをバージョン 9.xx から 10.5 に移行する場合、バージョン間での製品の大幅な更新と機能強化のため、移行プロセスが必要になります。

ONTAP tools for VMware vSphereからONTAP tools for VMware vSphereに移行できます。

セットアップに NFS および VMFS データストアがあり、vVolsデータストアがない場合は、ONTAPツール 9.xx をアンインストールし、ONTAPツール 10.5 を展開するだけです。ただし、セットアップにvVolsデータストアが含まれている場合は、VASA プロバイダーと SRA を移行するプロセスを実行する必要があります。

次の表は、これら 2 つの異なるシナリオにおける移行プロセスの概要を示しています。

セットアップにvVolsデータストアがある場合	セットアップにNFSとVMFSデータストアのみが含まれている場合
手順: 1." VASAプロバイダーの移行 " 2. " VMストレージポリシーを作成する "	手順: 1.環境からONTAPツール 9.xx を削除します。参照 " OTV 9.xx を環境から削除する方法 "NetAppナレッジベースの記事。2." ONTAP tools for VMware vSphereを導入および構成する " 3." SRAの更新 " 4. " VMストレージポリシーを作成する "



ONTAP tools for VMware vSphere 9.xx から 10.5 に移行すると、ONTAPツール 10.5 は VMFS データストアでのみ NVMe-oF プロトコルをサポートするため、NVMe/FC プロトコルを使用するvVolsデータストアは動作しなくなります。

VASA プロバイダーを移行し、ONTAP ツールで SRA を更新する

このセクションの手順に従って、VASA プロバイダーをONTAP tools for VMware vSphere 9.xx からONTAP tools for VMware vSphere 10.5 に移行し、VMware Live Site Recovery アプライアンス上のストレージ レプリケーション アダプタ (SRA) を更新します。

VASAプロバイダーの移行手順

1. 既存のONTAP tools for VMware vSphereでDerbyポート1527を有効にするには、rootユーザを有効にし、SSHを使用してCLIにログインします。次に、次のコマンドを実行します。

```
iptables -I INPUT 1 -p tcp --dport 1527 -j ACCEPT
```

2. ONTAP tools for VMware vSphereをデプロイします。

3. 移行する vCenter Server インスタンスを、ONTAP tools for VMware vSphereに追加します。参照["vCenter Serverインスタンスを追加する"](#)詳細についてはこちらをご覧ください。
4. ONTAPツールプラグインのvCenter Server APIからストレージバックエンドをローカルにオンボードします。["vSphere クライアント インターフェイスを使用してストレージ バックエンドを追加する"](#)詳細についてはこちらをご覧ください。
5. REST API リクエストを認証するためのアクセス トークンを取得します。次の例を使用して、変数を環境固有の値に置き換えます。

```
curl --request POST \  
--location "https://$FQDN_IP_PORT/virtualization/api/v1/auth/login" \  
--header "Content-Type: application/json" \  
--header "Accept: */*" \  
-d '{"username": "$MYUSER", "password": "$MYPASSWORD}"'
```

レスポンスで返されたアクセス トークンをコピーして保存します。

6. SwaggerまたはPostmanから次のAPIを実行して移行します。

```
curl -X POST \  
`https://xx.xx.xx.xx:8443/virtualization/api/v1/vcenters/{vcguid}/migration-jobs`
```

次の URL から Swagger にアクセスできます。https://\$FQDN_IP_PORT/、例えば：
https://10.67.25.33:8443/。

◦ HTTPメソッドとエンドポイント*

このREST API呼び出しでは、次のメソッドとエンドポイントを使用します。

* HTTP メソッド *	* パス *
投稿 (Post)	/api/v1

処理タイプ

非同期

カールの例

```
curl -X POST 'https://<OTV-NG-IP>:8443/virtualization/api/v1/vcenters/<vcguid>/migration-jobs' \
--header 'x-auth: <auth_token>' \
--header 'Content-Type: application/json' \
--data '{
  "otv_ip": "xx.xx.xx.xx",
  "vasa_provider_credentials": {
    "username": "xxxxxx",
    "password": "*****"
  },
  "database_password": "*****"
}'
```

他のリリース移行のリクエスト本文：

```
{
  "otv_ip": "xx.xx.xx.xx",
  "vasa_provider_credentials": {
    "username": "xxxxxx",
    "password": "*****"
  }
}
```

◦ JSON出力例*

システムはジョブ オブジェクトを返します。次のステップで使用するためにジョブ識別子を保存します。

```
{
  "id": 123,
  "migration_id": "d50073ce-35b4-4c51-9d2e-4ce66f802c35",
  "status": "running"
}
```

7. Swaggerで次のURIを使用してステータスを確認します。

```
curl
`https://xx.xx.xx.xxx:8443/virtualization/api/jobmanager/v2/jobs/<migration_id>?includeSubJobsAndTasks=true`
```

ジョブが完了したら、ジョブ応答の移行レポートを確認します。

8. ONTAP tools for VMware vSphereをvCenter Server に追加します。
9. VASA プロバイダーをONTAP tools for VMware vSphereに登録します。手順については、["VASA Provider を登録する"](#)。
10. 登録後、vSphere Client のストレージ プロバイダー で VASA プロバイダーの名前とステータスを確認します。VASA プロバイダーがオンラインになり、登録が成功したことが確認されます。
11. ["VASA Provider の有効化"](#)ONTAP tools for VMware vSphereのサービス。
12. 次の手順に従って、ONTAP tools for VMware vSphereを停止します。
 - a. ONTAPツール 9.x で、Web コンソールを開きます。
 - b. メンテナンス コンソールにアクセスします。
 - c. 入力 1*アプリケーション構成*メニューを選択します。
 - d. 入力 `5` VASA プロバイダーおよび SRA サービスを停止します。
 - e. vSphere Client で、インベントリ > ストレージ プロバイダー に移動します。
 - f. ストレージ バックエンドからONTAPツール 9.x VASA プロバイダーを選択し、[削除] をクリックします。

古いVASAプロバイダが停止すると、vCenter ServerはONTAP tools for VMware vSphereにフェイルオーバーします。すべてのデータストアと仮想マシンはONTAP tools for VMware vSphereからアクセス可能になり、サービスが提供されます。
13. 移行された NFS および VMFS データストアは、データストア検出ジョブの後にONTAP tools for VMware vSphereに表示されます。この処理には最大 30 分かかる場合があります。概要ページで可視性を確認します。
14. SwaggerまたはPostmanで次のAPIを使用してパッチの移行を実行します。

◦ HTTPメソッドとエンドポイント*

このREST API呼び出しでは、次のメソッドとエンドポイントを使用します。

* HTTP メソッド *	* パス *
パッチ	/api/v1

処理タイプ

非同期

Swagger では次の URI を使用します。

```
curl -X PATCH
`https://xx.xx.xx.xx:8443/virtualization/api/v1/vcenters/<vcenter_id>/migration-jobs/<migration_id>`
```

カールの例

```
curl -X PATCH
`https://xx.xx.xx.xx:8443/virtualization/api/v1/vcenters/56d373bd-4163-44f9-a872-9adabb008ca9/migration-jobs/d50073ce-35b4-4c51-9d2e-4ce66f802c35`
```

◦ JSON出力例*

ジョブオブジェクトが返されます。次の手順で使用するには、ジョブIDを保存する必要があります。

```
{
  "id": 123,
  "migration_id": "d50073ce-35b4-4c51-9d2e-4ce66f802c35",
  "status": "running"
}
```

PATCH処理の要求の本文が空です。



UUIDは、移行後のAPIに対する応答で返される移行UUIDです。

パッチ移行APIを実行すると、すべてのVMがストレージポリシーに準拠します。

次の手順

移行を完了し、ONTAPツール 10.5 を vCenter Server に登録したら、次の手順を実行します。

- 検出 が完了するまで待機します。完了すると、システムはすべてのホスト上の証明書を自動的に更新します。
- データストアおよび仮想マシンの操作を開始する前に待機します。待機時間は、ホスト、データストア、および仮想マシンの数によって異なります。待たないと、時々失敗が発生する可能性があります。

アップグレード後に仮想マシンのコンプライアンス状態が古い場合は、次の手順に従ってストレージポリシーを再適用します。

1. データストアに移動し、概要 > **VM** ストレージ ポリシー を選択します。

システムは、**VM** ストレージ ポリシー コンプライアンス のコンプライアンス ステータスを 古い と表示します。

2. ストレージ VM ポリシーと対応する VM を選択します。
3. *適用*を選択します。

VM ストレージ ポリシー コンプライアンス のコンプライアンス ステータスは、準拠として表示されます。

関連情報

- ["ONTAP Tools for VMware vSphere 10 RBACの詳細"](#)
- ["ONTAP tools for VMware vSphereから 10.5 へのアップグレード"](#)

ストレージレプリケーションアダプタ(SRA)を更新する手順

作業を開始する前に

リカバリプランにおいて、保護サイトとは仮想マシンが現在実行されている場所を指し、リカバリサイトとは仮想マシンがリカバリされる場所を指します。SRMVMware Live Site Recovery アプライアンス インターフェイスには、保護されたサイトとリカバリ サイトの詳細とともにリカバリ プランの状態が表示されます。リカバリ プランでは、[CLEANUP] ボタンと [REPROTECT] ボタンは無効になっていますが、[TEST] ボタンと [RUN] ボタンは有効なままです。これは、サイトがデータリカバリの準備ができていることを示します。SRAを移行する前に、一方のサイトが保護状態、もう一方のサイトがリカバリ状態であることを確認してください。



フェイルオーバーは完了しているが再保護が保留中の場合は、移行を開始しないでください。移行を続行する前に、再保護プロセスが完了していることを確認してください。テスト フェイルオーバーが進行中の場合は、テスト フェイルオーバーをクリーンアップして移行を開始します。

1. VMware Site RecoveryでONTAP tools SRAアダプタfor VMware vSphere 9.xxを削除するには、次の手順を実行します。
 - a. VMware Live Site Recovery構成管理ページに移動します。
 - b. Storage Replication Adapter *セクションに移動します。
 - c. 省略記号メニューから* Reset configuration *を選択します。
 - d. 省略記号メニューから*削除*を選択します。
2. これらの手順は、保護サイトとリカバリサイトの両方で実行します。
 - a. ["ONTAP Tools for VMware vSphereサービスを有効にする"](#)

- b. ONTAP tools for VMware vSphereを以下の手順で設定します。["VMware Live Site RecoveryアプライアンスでのSRAの設定"](#)。
- c. VMware Live Site Recovery インターフェイスで、**Discover Arrays** と **Discover Devices** を実行します。移行前と同じようにデバイスが表示されることを確認します。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。